

住職便い



第五号（平成二十三年十一月）

専徳寺住職 弘中満雄

《団体参拝を終えて》

あなたにあえてよかった

あなたには希望の匂いがする 阿久悠

【旅行記】

10月13～15日、岩国の10ヶ寺のご門徒160人と一緒に旅行に行ってきました。宗祖親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要に参拝するのが目的です。専徳寺は35人が参加いただきました。2年間待ち望んでいた日でした。

朝5時半に集合し、JRバスで一路高速道路を東へ。途中、伊丹から吹田のJC付近で渋滞に巻き込まれながらも、昼頃「信楽」に到着。たぬきの置物や信楽焼を見学しました。

午後は三重県桑名市にある「なばなの里」「ベゴニアガーデン」を見学。視界一杯に広がる世界一美しい花ベゴニアと、見渡す限りのコスモスの花畑を堪能しました。



夜は長島温泉で宴会・カラオケ。専徳寺男性有志の「高校三年生」は大変好評でした。

一夜明けて、本日はいよいよ法要参拝です。まず午前中は、津市にある真宗高田派本山「専修寺」を参拝。30分お話を聞きました。高田派のご本尊は弥陀三尊像である事、仏華は松だけである事等、同じ浄土真宗でもずいぶん違いがある事に驚かされました。

そしてバスは本山へ。車窓に西本願寺が映ると、自然に感動がこみ上げてきました。午後2時、聖人の御真影がある御影堂に全員着座。三千人を超す参拝者が一同に静まる中、縁儀が始まりました。大太鼓の音が堂内に鳴り響き、出勤する僧侶が堂内を行進。その数は百人を超えていました。

大法要はご門主・新門様お二方が出勤。自坊でもお待ち受け法要で勤めた「宗祖讃仰音楽法要」でした。厳かな素晴らしい法要でした。また法要後の新門様とご門主様のお言葉は大変有り難いものがありました。共に「震災の悲しみに寄り添いお勤めいたします」とおっしゃってられました。

三日目は聖人ご修行の地、比叡山を参拝。

特別に西塔の常行堂内を拝観させてもらえました。比叡山では「堂僧」であつた親鸞聖人。「ここで聖人も厳しい修行（常行三昧）90日間不眠での念仏行道」をされたのか」とため息が出ました。

昼食後は最後の観光地、蓮如上人ゆかりの三井寺へ。観音堂でお話を聴き、金堂（国宝）、三天皇の産湯井戸、弁慶鐘などを見学。

幾人が三井晚鐘を突きました。荘厳な音色で有名な鐘です。趣深いしみじみとした音色。意義深い旅行でした。

【勝縁に思う】

旅行の次の日。ふと、和田アキ子さんの「あの鐘を鳴らすのはあなた」が頭に流れました。

あなたにあえてよかった♪

あなたには希望の匂いがする♪

つまづいて 傷ついて 泣き叫んでも♪

さわやかな希望の匂いがする♪

今回の旅行で、あらためて「あなたに親鸞聖人」に出遇ったように思います。

聖人は、苦悩の中を生きる私に、〈他力〉という希望の光を伝えてくださいました。

比叡山での壮絶な修行、流罪という苦難を乗り越えた聖人。その姿は、一生涯、煩惱に悩む私を一筋に救わんと苦勞された、あの阿弥陀如来を彷彿とさせるものでした。

町は今 砂漠の中♪

あの鐘を鳴らすのは あなた♪

人はみな 孤独の中♪

あの鐘を鳴らすのは あなた♪

聖人は一生涯、「阿弥陀如来と共に歩む人生を」と説かれました。念仏者は孤独であつて孤独ではありません。阿弥陀様が一緒にいます。そして、親鸞聖人も一緒にいます。

念仏は、砂のように乾いた心にしみいる、如来の大音声。750回大遠忌法要での念仏の大合唱は、そのことをあらためて味わった尊い勝縁（すぐれた縁）でした。

※「お言葉」は法要のどこかで放映します。